

平成 25 年 7 月 18 日

報道各位

住友不動産株式会社

生活感漂うキッチンが スタイリッシュな“飾り棚”に早変わり！
＜キッチンの概念を変える新発想＞
『デザインウォールキッチン』誕生（特許出願中）
今秋発売予定「セントラルプレイス南大塚」に初採用

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区西新宿2-4-1、代表取締役社長:仁島浩順)は、このたびキッチンが“飾り棚”に早変わりする新システム「デザインウォールキッチン」を分譲マンション用に開発いたしました。

「デザインウォールキッチン」は、シンク周辺を電動式の扉で覆うことで、キッチンを飾り棚に一瞬で変えることができ、同時にキッチンに漂う生活感を消し去り、リビング・ダイニングと一体利用することで、スッキリとした生活空間を創出します。キッチン＝調理スペースというこれまでの概念を変える新発想です。

なお、「デザインウォールキッチン」は、今秋発売予定の分譲マンション「セントラルプレイス南大塚」(地上9階建て・総戸数35戸)に初めて採用いたしますのであわせてお知らせします。



＜キッチンイメージ:扉オープン状態＞



＜飾り棚イメージ:扉クローズ状態＞

◆「デザインウォールキッチン」の特徴～3つの変化

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ① キッチンが変わる | 雑然としたキッチンが、スタイリッシュな“飾り棚”に変身 |
| ② 空間が変わる | 生活感漂うLDKが、スッキリしたLDに変化 |
| ③ 生活が変わる | 空間的なゆとりが生まれ、生活の満足度が向上 |

◆ 開発主旨

マンションのキッチン、ファミリータイプのプランを中心に家族とのコミュニケーションを重視した対面型が主流ですが、専有面積の比較的狭い1LDKタイプなどでは、限られたスペースを効率的に使うことができる壁付型（背面型）を採用するケースが一般的となっています。壁付型キッチンは、こまめな掃除や整理を心掛けないと雑然とした生活感が漂い、リビング・ダイニングの雰囲気を損ねてしまうことがあります。

今回発表した「デザインウォールキッチン」は、キッチンとして使用しない時に電動式の扉を閉めることでシンクやカウンターまわりが隠れ、生活感を消し去ると同時に、上下段には趣味の置物などを自由にディスプレイできる飾り棚が現れます。キッチンそのものを“魅せる収納”としてリビング・ダイニングに取り込むことで、より一層空間的「ゆとり」が得られ、生活の満足感を高めます。

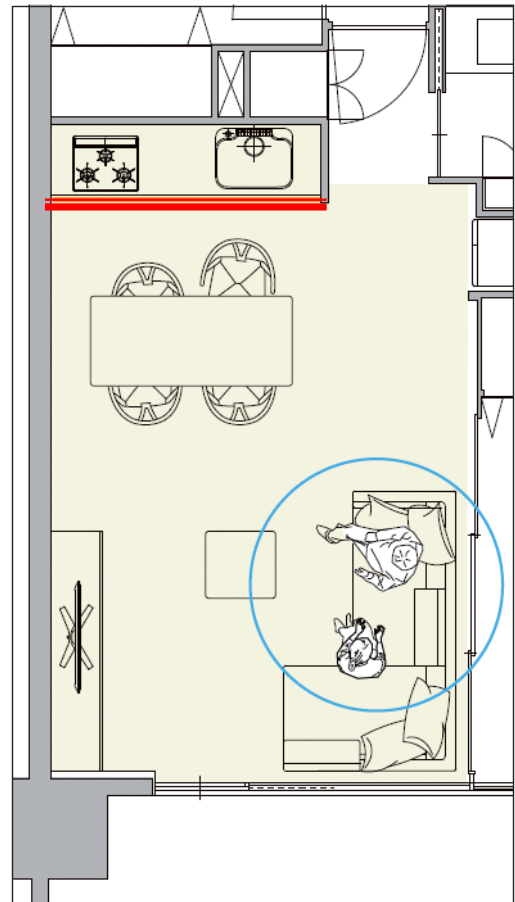
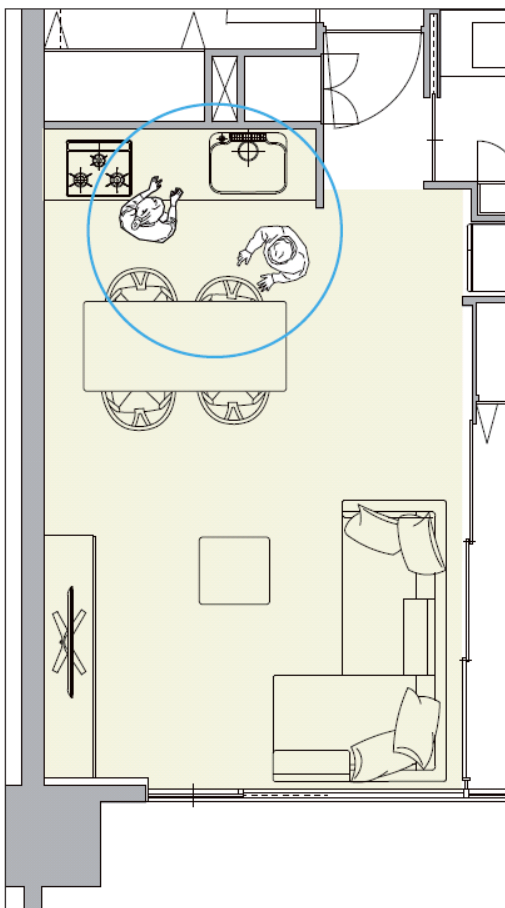
単身者や共働き世帯の増加など、ライフスタイルが多様化する中、利便性に優れた都心居住のニーズは今後も高まることが予想されます。弊社が開発した「デザインウォールキッチン」は、従来のLDKという概念に捉われず、スペースの有効利用を目指した“次世代型間取り”の提案であり、プロダクトの視点からも生活の「クオリティ」を高めるものと考えています。

<扉オープン>

料理をする際は、通常の「キッチン」として使用。
協働して食事の準備をするなどの生活シーンをイメージしています。

<扉クローズ>

調理をしない間は飾り棚としての利用が可能。
リビング・ダイニングと一体利用することで、
寛ぎの空間が広がります。

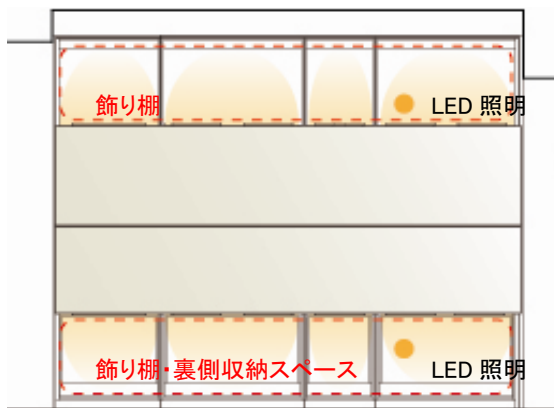


◆「デザインウォールキッチン」の概要

(1) 安全性への配慮

目隠し用の扉は、電動式モーターで昇降し、近くの壁面に設置されたスイッチで開閉します。開閉の際、キッチンの袖壁に設置されたセンサーが扉の動きを認識して、扉が閉まると上下段の収納棚の照明が自動点灯する一方、キッチン内の IH ヒーターや電子レンジなどは誤作動防止の為に電源が切れます。扉が開けば収納棚の照明が消え、キッチン内の電源に通電し調理などが可能になる仕組みとしたことで、最大限安全に配慮しました。

<飾り棚:扉クローズ状態>



<飾り棚:扉クローズ状態>

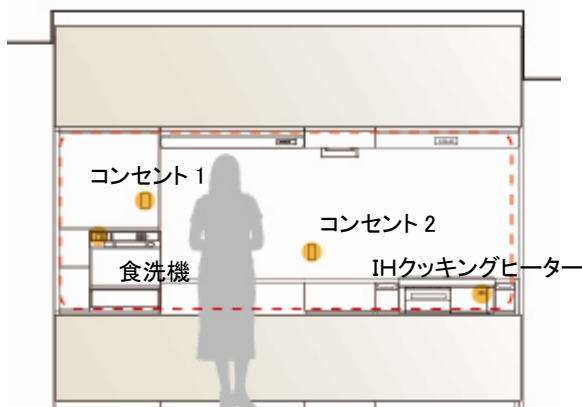
扉が最後まで閉じたことをセンサーが感知すると LED 照明が自動点灯、棚裏側の引き出し収納も利用できる状態になります。

(照明は手動スイッチで ON・OFF 可能)

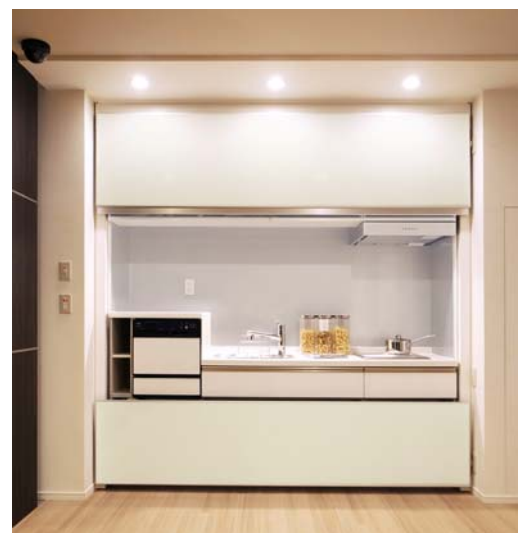


<引き出し収納>

<キッチン:扉オープン状態>



扉が全開すると通電し、熱源機器などが使用できる状態となります。扉がわずかでも閉まると、安全性に配慮し電気の供給がストップします。



<キッチン:扉オープン状態>

(2) 扉の面材

「デザインウォールキッチン」のスタイリッシュな雰囲気を印象付ける扉の面材は、住友ベークライト株式会社と共同開発した「不燃性のパネル」を採用しています。ガラスのようなツヤ感と色目が出せるという見た目の特徴に加え、重さ・耐久性にも考慮した素材です。



(3) LED 照明

上下段の飾り棚に設置した照明は、天井の間接照明等で使用されている LED テープライトを採用しており、置物が映えるショーケースのような雰囲気を醸し出します。



(4) 仕様・設備

調理用コンロは、扉の開閉にあわせて電源の ON・OFF が連動する仕組みとしたため、電気式の IH ヒーター (2 口) を採用、あわせて、家事の負担を軽減する食器洗い乾燥機をオプションで用意しています。(セントラルプレイス南大塚は標準装備)



◆「セントラルプレイス南大塚」の物件概要

- 【所在地】東京都豊島区南大塚一丁目 1650 番地 15(地番)
- 【交通】JR 山手線「大塚」駅から徒歩 6 分
東京メトロ丸ノ内線「新大塚」駅から徒歩 9 分
- 【用途地域】第一種住居地域
- 【敷地面積】578.99 m²
- 【延床面積】1,865.38 m²
- 【構造・規模】鉄筋コンクリート造 地上 9 階建
- 【総戸数】35 戸(事業協力者取得住戸含む)
- 【住戸専有面積】34.82 m²～41.98 m²(1LDK)
- 【竣工予定】平成 26 年 4 月下旬
- 【入居予定】平成 26 年 9 月下旬
- 【売主】住友不動産株式会社
- 【設計・施工】三井住友建設株式会社
- 【管理会社】住友不動産建物サービス株式会社



<外観完成予想図>

◆「セントラルプレイス南大塚」の主な特徴

- ・JR 山手線、地下鉄丸ノ内線が利用でき、都内主要駅へダイレクトアクセスが可能な交通利便性に優れた立地
- ・大規模複合施設などが集積しているメガシティ「池袋」が生活圈(隣駅)、“アーバンライフ”を享受できる立地
- ・「大塚駅」徒歩 6 分、「新大塚」駅徒歩 9 分、幹線道路から奥に入った「第一種住宅地域」の落ち着いた住環境
- ・採光性・通風性に優れた角住戸比率 66%のオール 1LDK プラン、「デザインウォールキッチン」採用

<本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先>

広報課 田中、住友 TEL/03-3346-1042

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

『総合マンションギャラリー』池袋館

受付時間/午前 10 時 ～午後 8 時(無休・年末年始は除く) TEL/0120-338-296

「セントラルプレイス南大塚」ホームページ

<http://www.sumitomo-rd-mansion.jp/shuto/minamiohtsuka/>

<「総合マンションギャラリー」池袋館のご案内>



【所在】東京都豊島区東池袋 1-10-1 住友池袋駅前ビル

【交通】JR 山手線、東京メトロ丸ノ内線・有楽町線、東武東上線、西武池袋線
「池袋」駅 33 出口より徒歩 2 分